



## 疾風に勁草を知る

高瀬 智子

さわやかな風とともに、若葉がまぶしい季節となりました。この1カ月で、子どもたちは、新しい学級での生活に徐々に慣れて、自分らしさを出しながら、毎日を過ごしています。

この4月のできごとですが、福生第二中学校の入学式で、本校をこの3月に卒業した生徒が新入生代表として、挨拶を述べていました。立派に挨拶を述べていましたが、その中に「疾風に勁草を知る。(しっぷうにけいそうをしる。)」というのがありました。この言葉の意味は、「激しい強い風が当たるときほど、その風に負けないしっかりとした草が見分けられる。困難なときほど、その人の本当の強さが分かる。」というものです。私は初めて耳にし、後で調べて改めて意味を知るとともに、新入生の言葉から学び、学びは様々な場面で年齢を超えてあるものだと強く実感しました。

学校は、子どもが学び育つところであるとともに、そこに関わる大人にも学びをもたらす場であること改めて感じました。

さて、先日の保護者会では、多数御出席いただき、ありがとうございました。全体会では学校全体に関わることにについて、初めにお話し、SNSのことについても触れましたが、最近のニュースで、小学生から高校生までのタブレットやスマートフォンをもっている保護者を対象とした調査について報道されていたので紹介いたします。

その中で「SNSで知らない人とやり取りしたことがある。」と回答した小学1～3年生は、22.6%でした。また、「顔や身体の写真・動画の送受信」についても、最も多かったのが小学1～3年生の33.6%ということでした。他の年齢層でも「やり取りをした」、「画像を送った」との回答があり、どの年齢でも気を付ける必要がありますが、「幼い子などは、SNSなどの危険性が理解できず、トラブルに巻き込まれやすい。フィルタリングやスマホ利用のルールを設けるなどの対策をかけ合わせてトラブルを防いでほしい。」とのコメントがありました。

子どもがSNS等を通じて犯罪の被害者にも加害者にもなることが決して無いよう、スマートフォン等をお子さんに持たせる場合には、御家庭での約束を決め、適切に使用できるよう、お願いいたします。

この1か月、子どもたちは新しい学級になり、担任とともに、学級での目標や決まりなどを確認し、スタートを切っています。6年生は、1年生のお世話を毎日頑張り、また、委員会やクラブではリーダーとして取り組み、最高学年になったという気持ちが、行動の随所に現れています。また、どの学年も1学年上になった気持ちを持ち、頑張っています。

先日行った、1年生を迎える会では、各学年・ひまわり学級から、心のこもったメッセージや元気な歌のプレゼントをしたほか、一小に関するクイズを行い、1年生を温かく迎えました。1年生も元気に歌を披露し、全校児童で楽しいひと時を過ごしました。

子どもたちが自分の力を発揮し、自分に自信をもって成長していくためには、学校、家庭、地域が協力していくことが大切です。子どもを中心に、どのようにしていくことがよいのかを共に考えながら、一小の子どもたちが伸びやかに成長していける一小としていきたいと思ひます。御理解・御協力をお願いいたします。



「1年生を迎える会」